

舞台機構のセットマニュアル（9号館メモリアルホール）【Ver 1】

I. 注意事項

- (1) 作業は、必ず3人以上で行うこと。
- (2) 1人は操作盤を担当し、緊急時には「Sボタン」（非常停止ボタン）を押すこと。
- (3) 天反の作業中は、危険なので絶対その下に立たないこと。
- (4) 天反は、完全に降下するまで連結棒を抜かないこと。抜くと安全装置が働き非常停止します。
- (5) 幕やバトンの名称・種類については操作盤の上の図面を参照のこと。

II. セット方法

1. 大セット
2. 小セット
3. 大→小セット
4. 小→大セット
5. 解体

この順に記載
しています。

III. 略称

操作盤	-----	舞台吊もの操作盤
天 反	-----	天井反射板
側 反	-----	反面反射板

IV. 基本作業

次の操作・作業を行った後、セットにかかってください。

- ① 操作盤にキーを差し込み、電源スイッチを押す。
- ② 袖幕1、引割幕1、袖幕2、引割幕2、バック幕を左右にまとめる。
- ③ 緞帳、幕板、ボーダーライト、サスライト1、サスライト2、水平ライト、スクリーンのボタンを押して点灯させた後、各ボタンの「↑」を押す。（完了後は自動停止する）
- ④ 舞台袖の上の階に上がり、一文字幕1、一文字幕2、一文字幕3、一文字幕4、バトン3、バトン4、バトン5、水平幕を上限まで巻き上げる。

1. 大セット

<p>(1) 天井反射板</p>	<p>①前記の基本作業を行う。</p> <p>②操作盤の高低切替スイッチ2か所を「高」側へ倒す。</p> <p>③天反1前と天反1後のスイッチとその下の「↓」を押して、バトン1と天反1を降ろす (完了後は自動停止する)</p> <p>【注意】降ろす前に板などの下に誰もいないかを確認。必ず「おろします」と声をかけること。</p> <p>④バトンと反射板を接続する。</p> <p>⑤天反1同時スイッチが点灯するので、セットボタンを押す。(完了後は自動停止する。)</p> <p>⑥天反2も同様にセットする。</p> <p>【注意】セットボタンを押す前に揺れがおさまっているか確認する。 (揺れていると板がライト等と接触する恐れがある。)</p> <p>⑦天反3も同様にセットする。</p>
<p>(2) 側面反射板</p>	<p>側反1 (外側)、側反2 (内側) の順でセットする。</p> <p>【側反1】</p> <p>①袖幕が掛かるので、一人が袖幕を吊るしているロープを使って幕を束ね、引っ張る。</p> <p>②反射板の「手元押釦」を使い、移動する。</p> <p>【注意】側反1には、自動停止装置が付いていないので、上部を確認しながら、天板に当たらないように所定の位置まで出してください。</p> <p>③床の固定穴にストッパーを固定する。</p> <p>【側反2】</p> <p>④基本的には、側反1と同じ作業をする。</p> <p>【注意】側反2には自動停止装置が付いており、止まった所が定位置です。</p> <p>⑤側反1、側反2の反りを調整する。</p> <p>【側反3】</p> <p>⑥基本的には、側反1、2と同様の操作を行う。 ただし、側反3は手動で操作する。</p>
<p>(3)</p>	<p>幕板 (緞帳の後ろ上部にある幕) の高さを調整する。</p> <p style="text-align: right;">(完了)</p>

2. 小セット

<p>(1) 天井反射板</p>	<p>① 1 頁の基本作業を行う。</p> <p>② 操作盤の高低切替スイッチ 2 か所を「低」側へ倒す。</p> <p>③ 天反 1 前と天反 1 後のスイッチとその下の「↓」も押して、バトン 1と天井反射板 1を降ろす。(完了後は自動停止する)</p> <p>【注意】降ろす前に板などの下に誰もいないかを確認。必ず「おろします」と声をかけること。</p> <p>④ バトンと反射板を接続する。</p> <p>⑤ 天反 1 同時スイッチが点灯するので、セットボタンを押す。(完了後は自動停止する)</p> <p>【注意】セットボタンを押す前に揺れがおさまっているか確認する。 (揺れていると板がライト等と接触する恐れがある。)</p> <p>⑥ 天反 2も同様にセットする。</p>
<p>(2) 側面反射板</p>	<p>側反 1 (外側)、側反 2 (内側) の順でセットする。</p> <p>【側反 1】</p> <p>① 袖幕が掛かるので、一人が袖幕を吊っているロープを使って幕を束ね、引っ張る。</p> <p>② 反射板の「手元押釦」を使い、移動する。</p> <p>【注意】側反 1には、自動停止装置が付いていないので、上部を確認しながら、天板に当たらないように所定の位置まで出してください。</p> <p>③ 床の固定穴にストッパーを固定する。</p> <p>【側反 2】</p> <p>④ 基本的には側反 1と同じ作業をする。</p> <p>【注意】側反 2には自動停止装置がついており、止まった所が定位置です。</p> <p>⑤ 側反 1、側反 2の反りを調整する。</p>
<p>(3) 正面反射板</p>	<p>正面反射板の後ろにあるレールを用いて、セットします。</p> <p>① レールをセットする。</p> <p>【注意】レールの前と書いてある方を客席側にセットし、★印を連結します。</p> <p>② 正面反射板の「手元押釦」を使い、移動する。</p> <p>【注意】正面反射板は、自動停止装置がないので、レールからはみ出さないよう注意してください。</p>
<p>(4)</p>	<p>幕板 (緞帳の後ろ上部にある幕) の高さを調整する。</p> <p style="text-align: right;">(完了)</p>

3. 大→小セット

側反↓ 天反↓ 正面反射板↓ 側面反射板↓ 幕板	<p>① 1頁の基本作業を行う。</p> <p>② 側反1、側反2の順に「手元押釦」で、2頁の側面反射板の項を参考にして、格納位置に戻す。 【注意】一旦、側面反射板を格納しないと、バトンが引っ掛かります。</p> <p>③ 操作盤の高低切替スイッチ2か所を「低」側へ倒す。</p> <p>④ 天反1同時スイッチの格納ボタンを押し、天反1を降下させる。 【注意】万一、天反1とバトンとの連結部分が旋回し始めたら、「Sボタン」を押して停止してください。</p> <p>⑤ セットボタンを押す。(完了後は小セットの位置に自動停止する)</p> <p>⑥ 天反2も同じ要領で行う。</p> <p>⑦ 天反3同時スイッチを点灯させ、格納ボタンを押し、天反3を降下させる。 【注意】降ろす前に板などの下に誰もいないかを確認。必ず「おろします」と声をかけること。</p> <p>⑧ 連結棒をはずし、バトンと天反に分ける。</p> <p>⑨ 天反3前、天反3後のスイッチの「↑」を押し、格納する。</p> <p>⑩ 正面反射板をセットする。 2頁の正面反射板の項を参考にしてください。</p> <p>⑪ 側反をセットする。 2頁の側反の項を参考にしてください</p> <p>⑫ 幕板(緞帳の後ろ上部にある幕)の高さを調整する。</p> <p style="text-align: right;">(完了)</p>
--------------------------------------	---

4. 小→大セット

側反↓ 正面反射板↓ 天反↓ 幕板	<p>① 1頁の基本作業を行う。</p> <p>② 側反1、側反2の順に2頁の側反の項を参考にして格納する。 【注意】一旦、側反を格納しないと、バトンが引っ掛かります。</p> <p>③ 正面反射板を移動する。(2頁の正面反射板の項を参照)</p> <p>④ 天反3のセットを行う。</p> <p>⑤ 操作盤の高低切替スイッチ2か所を「高」側へ倒す。</p> <p>⑥ 天反1同時スイッチを点灯させ、「↑」スイッチを押し、大セットの位置まで上げる。</p> <p>⑦ 天反1と天反2を上げる。</p> <p>⑧ 天反3前と天反3後のスイッチと「↓」を押して、バトン3と天反3を降ろす。(完了後は自動停止する) 【注意】降ろす前に板などの下に誰もいないかを確認。必ず「おろします」と声をかけること。</p> <p>⑨ バトンと反射板を接続する。</p> <p>⑩ 天反3同時スイッチが点灯するので、セットボタンを押す(完了後は自動停止する。) 【注意】セットボタンを押す前に揺れがおさまっているか確認する。 (揺れていると板がライト等と接触する恐れがある。)</p> <p>⑪ 幕板(緞帳の後ろ上部にある幕)の高さを調整する。</p> <p style="text-align: right;">(完了)</p>
----------------------------	---

5. 解体

側反→天反→正面反射板の順に行ってください。

～ お願い ～

1. ホールの設営は、上記マニュアルを参考にして、使用する部署が行ってください。
2. ホールの管理は総務事務室です。球切れ、整備不良等は総務事務室まで申し出てください。

改訂 2013年12月19日